

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価				
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策		
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①「単位制の履修形態に満足している」と考える生徒・保護者が90%以上である。	履修ガイダンス及び履修相談の充実のため、研修等で職員の共通理解を図る。 生徒の修学目的が達成できるようにサポートする。	A	A	本校の教育課程等について、生徒及び保護者の100%が肯定的である。引き続き、きめ細かな履修相談を実施し、生徒の単位修得を促す。 本校について、生徒の89%、保護者の97%が好きだと考えている。引き続き、魅力ある学校づくりに取り組む。	A	A	本校の教育課程等について、生徒及び保護者の100%が肯定的な回答をしている。次年度も引き続き、きめ細かな履修相談を実施し、生徒の単位修得を促す。 本校が好きであるかについて、生徒の91%、保護者の98%が肯定的な回答をしている。引き続き、魅力ある学校づくりに取り組む。		
		②「自分の学校が好きである」と考える生徒・保護者が80%以上である。		A	A						
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業が分かりやすい・適切である」と考える生徒・保護者が90%以上である。	7月と12月に授業アンケートを実施し、生徒の実態に合った授業を工夫する。 主体的・対話的で深い学びの実現を目指して生徒理解に努めるとともに、学習の過程を重視して、自主的・自発的な態度を育成する授業に取り組む。	A	A	スクーリングの実施状況について、生徒の93%、保護者の96%が肯定的である。引き続き、生徒の実態に即した指導の実施に努める。	A	A	スクーリングの実施状況について、生徒及び保護者の97%が肯定的な回答をしている。引き続き、生徒の実態に即した指導の実施に努める。		
		④「学力が向上した」と考える生徒・保護者が70%以上である。		A	A						
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑤全教職員が、重点目標を踏まえた自己目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。	重点目標と学校評価一覧表を連結し、これらに基づいて自己申告書を作成する。 情報の共有化を図り、統一した指導体制をとる。 「フレックス通信」等で交通マナー・交通ルールの遵守を呼びかけるなどとして、生徒の意識を高め、自己啓発を図る。 学籍管理システムの有効利用を図り、指導に生かし、個々の生徒にきめ細かな指導を行う。	A	B	全ての教職員が、教育目標及び学校運営方針等を踏まえて自己目標等を設定し、教育活動を展開している。 引き続き生徒に関する情報交換を月に2回以上行ききめ細かな指導に役立てる。 交通安全について、生徒の100%が「心掛けている」保護者の99%が「子どもは心掛けている」と回答している。引き続き、命を大切にする指導の徹底に努める。 引き続き個々の生徒にきめ細かな指導を行い、より多くの生徒が単位修得できるよう支援する。	A	A	全ての教職員が、教育目標及び学校運営方針等を踏まえて自己目標等を設定し、教育活動を展開している。 引き続き生徒に関する情報交換を月に2回以上行ききめ細かな指導に役立てる。 生徒の交通安全意識について、生徒及び保護者の100%が良好と回答している。フレックス通信や集会を活用し、引き続き、命を大切にする指導の徹底に努める。 本年の生徒の単位修得率は64%であった。引き続き個々の生徒にきめ細かな指導を行い、より多くの生徒が単位修得できるよう支援する。		
		⑥生徒に関する情報交換を月2回以上行う。		A							
		⑦「交通マナー・交通ルールの遵守を意識している」と考える生徒・保護者が100%である。		B							
		⑧生徒の単位修得率が60%以上である。		—							
		⑨「学校は、いじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。		A			A			A	A
		⑩「携帯電話やフレックス通信でいつも学校の情報を確認している」と考える生徒・保護者が90%以上である。		A			A			A	A
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑬「進路指導が信頼できる」と考える生徒・保護者が70%以上である。	進路指導計画を確立し、系統的な指導を行う。 生徒や保護者に有用な情報を提供する。 卒業年次生の進路目標の達成を支援する。	A	A	本校の進路指導について、生徒の93%、保護者の90%が信頼していると回答している。引き続き、生徒の希望に即した指導の在り方の模索に努める。 「フレックス通信」を通じて随時進路情報を発信している。内容の充実にも努める。	A	A	本校の進路指導について、生徒の88%、保護者の91%が信頼していると回答している。引き続き、生徒の希望に即した指導の実施及び定着を図る。 「フレックス通信」で随時進路情報を発信した。今後も内容の充実にも努める。		
		⑭進路情報を年4回以上発信する。		A							
		⑮「進路目標の実現に向けて努力している」と考える生徒・保護者が70%以上である。		B	B		A				
		⑯「進路目標の実現に向けて努力している」と考える生徒・保護者が70%以上である。		B	B		A				
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑰通信制だよりである「フレックス通信」を月2回以上発行する。	保護者にも通信制の様子が伝わるよう多くの情報を提供する。 最新の情報を提供できるよう全教職員が心がける。	A	B	スクーリング等に合わせて「フレックス通信」を発行し、情報提供に努めている。引き続き、有用な情報の提供に努める。 計画どおりに更新を行っている。引き続き、内容の充実、精選に努める。	A	A	スクーリング等に合わせて「フレックス通信」を発行し、情報提供に努めている。引き続き、有用な情報の提供に努める。 計画どおりに更新を行っている。引き続き、内容の充実、精選に努める。		
		⑱学校（通信制）のホームページを月2回以上更新する。		B							
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑲授業においてICT機器を活用した講座の割合が70%以上である。	PC、書画カメラ等を適切に活用することにより、分かりやすい授業を行うよう心がける。 オンラインで共有できる情報を精査し、職員会議や打合せの効率化を図る。	B	B	前期はICT機器を活用した講座は全体の73%であった。ICT機器の有効活用による分かりやすい授業の実施に努める。 情報部が情報を共有するためオンライン掲示板を作成した。今後さらに有効に活用できるよう努める。	C	C	ICT機器を活用した講座は開講講座の68%であった。ICT機器の有効活用による分かりやすい授業の実施に努める。 オンライン掲示板を活用した打合せが定着し、連絡等で活用する機会が増加した。今後さらに有効活用にも努める。		
		11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。		⑲職員間の情報共有にオンラインを活用している。			A			A	